

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 17 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2012

課題番号：21320118

研究課題名（和文） 東照宮祭祀の確立と展開

研究課題名（英文） The Establishment and Development of Religious Observances at the Toshogu-Shrine

研究代表者

曾根原 理（SONEHARA SATOSHI）

東北大学・学術資源研究公開センター・助教

研究者番号：30222079

研究成果の概要（和文）：日本近世の宗教施設の頂点にあった東照宮の史料を調査し分析することにより、国家や社会で宗教や思想が果たした役割の解明を進めた。日本社会は、戦闘者（武士）が権力だけでなく権威も保持した点が、欧州や中国などと異なる特徴として挙げられる。それを可能にした宗教のあり方を検討するとともに、国内外の学会などで多くの報告や討論を行い、研究成果が広く共有されるよう努めた。

研究成果の概要（英文）：Through surveys and analysis of Tōshōgū, the leading religious institution of Early Modern Japan, this research project has sought to further our understanding of the roles of religion and thought in state and society. The fact that warriors (samurai) held onto power in Japanese society by force of authority as well as by force of arms and compunction is given as an example of contrast with Europe or China. This research project has examined of the forms of religious practice and institution which made that situation possible. A large number of reports and presentations have been delivered and many discussions held both in Japan and overseas. Every effort has been made to make the results of this research widely available.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
21年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
22年度	1,400,000	420,000	1,820,000
23年度	1,400,000	420,000	1,820,000
24年度	3,300,000	990,000	4,290,000
年度			
総計	10,000,000	3,000,000	13,000,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近世史

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 近年、権力者（信長・秀吉・家康や藩祖など）の神格化に対する興味が高まっている。政治や経済の側面だけでは、近世社会の本質的な部分が把握しきれず、宗教や文化の側面に従来以上に注目し、その成果を組み込

むことによって、近世社会を総体として理解できるという研究動向にもとづいている。

(2) しかし、それに関係する文献は、なお調査されずに、各地の史料所蔵機関や寺院などに保管されているものが多い。視点の変化にもとづき、新たな方面の史料調査と分析が

必要である。また、そうした史料を扱うにあたっては、従来以上にさまざまな専門家が共同で作業し、学際的に内実を解明することが求められる。

(3) 近世の国家と宗教の関係は、日本の歴史における独自性が強く現れており、比較文化史的にも興味深い課題である。そうした観点から、積極的に国際会議で報告する意義がある。

## 2. 研究の目的

(1) 近世初期に将軍家始祖を神格化し、徳川将軍を中心とする秩序維持の要となった日光東照宮の社会的役割について、宗教文化史、政治思想史、祭礼芸能史、地域社会史など様々な観点から解明する。

(2) 従来手つかずで残されてきた各種関連史料について、本格的に合同調査を行い、翻刻や解説を施し、学界の共有財産とする。

(3) 研究成果について、さまざまな専門の研究者が一同に会して学際的な検討の場を設ける。また、日本国内だけでなく、国際的な研究集会で報告を行い、日本側からの発信を行う。

## 3. 研究の方法

(1) 近世初期、徳川家康を神格化した日光の東照宮における祭祀を確立した経緯について、関連史料を合同調査する。また、その基盤となった思想や宗教、近世後期に社会の中で広がりを見せた様子などについても、同様に調査をする。

(2) 年に2回のペースで研究会を開催し、成果を報告し議論を行う。

(3) 国内および国外の学会で、研究チームとしての合同報告を行い、特に海外の研究者たちに日本側からの研究発信を実現する。

## 4. 研究成果

(1) 東照宮の関連史料を合同調査し、今まで存在が知られていなかった史料を扱った研究に着手した。また、国際学会に参加した際にも、可能な限り現地の関連文献を調査するよう努めた。代表的な調査履歴は次のとおりである（以下は研究代表者が加わった例で、他に研究分担者なども独自に調査を実施している）。

①オランダ王国ライデン大学図書館

2009年6月4日

②ベルギー王国ルーヴァン・カトリック大学

図書館

2009年6月4日

③仙台市博物館

2010年9月29～30日

④岡山大学附属図書館池田文庫

2010年10月18日

⑤鳥取東照宮別当寺院（大雲院）

2010年10月19日

2011年7月26～27日

⑥アイルランド共和国チェスタービーティ図書館

2011年3月1日

⑦米国ハーヴァード燕京図書館

2011年9月20日

⑧叡山文庫

2012年12月3日

⑨群馬県桐生市善昌寺

2011年12月18日

⑩鹿児島県歴史資料センター黎明館

2012年10月4日

⑪中華民国台湾大学図書館

2012年10月9日

(3) 毎年の研究会において、以下のような研究発表に対し議論を行い、認識を深めた。

①2009年12月19日（仙台・東北大学）

曾根原「〈史料紹介〉鳥取東照宮旧蔵・家康年忌行事関係史料」

岸本「史料紹介『慶応四年日次記』」

②2010年6月6日（東京・筑波大学秋葉原校舎）

曾根原「欧州資料調査の記録」

福原「仙台東照宮祭絵画資料について」

佐藤「『東照宮遷座之記』にみえる遷宮行事について」

岸本「大雲院所蔵の史料紹介（引出三 一六七より）」

山澤「東叡山による天保十二年分限改め 一大雲院帳簿文書（引出番号六）の文書紹介を中心に」

鈴木志乃「近代における仙台東照宮祭礼の再編成」

③2010年12月26日（東京・筑波大学秋葉原校舎）

曾根原「岡山東照宮家康年忌関係史料について」

福原「水戸東照宮祭礼の研究史と史料」

佐藤「慶応四年日次記に見る神仏判然令前後の鳥取東照宮の動向」

岸本「大雲院と松上神社―「明治二年日記簿」の紹介―」

山澤「近世日光山・東叡山における元三大師祭祀の成立過程―日光東照社 奥院寛永造替の再論ととらへ―」

大川「明治元年における天台宗―鳥取大雲院所蔵「慶応四年朝政御一新二付延暦寺建言」をめぐって―」

④2011年7月26～27日（鳥取・レーク大樹）

- 曾根原「鹿兒島東照宮をめぐって」  
 佐藤「慶応四年日次記にみる鳥取東照宮・大雲院の神仏分離の動向」  
 岸本「幕末期毀鐘鑄砲に関する史料紹介」  
 山澤「久能山東照宮の成立について」  
 中川「大雲院文書に見る安楽律関係史料—大雲院と摩尼寺の関係—」
- ⑤2011年12月4日(京都・池坊短期大学)  
 曾根原「ハーヴァード燕京図書館所蔵東照宮関係史料について」  
 福原「神仏習合の造り物—宮中灌仏会「山形」から熱田社神事造り物への展開—」  
 佐藤「明治二年における大雲院と鳥取東照宮の神仏分離の動向—明治二年日記簿を通して見る—」  
 岸本「大雲院所蔵大関関係資料について」  
 藤田「近世延暦寺財政と伯耆大山」
- ⑥2012年5月27日(東京・筑波大学文京校舎)  
 曾根原「CBL所蔵日光関係史料について」  
 福原「御霊会の最期—コレラ鎮送の神輿渡御と収束祝いの山鉾祭—」  
 佐藤「明治二年における大雲院と鳥取東照宮の神仏分離の動向—その2—」  
 山澤「大雲院所蔵『大師堂・仮御霊屋焼失一件控記』(天保九年)について」
- ⑦2013年3月5日(北九州・北九州市立大学)  
 福原「博多松囃子小考」  
 山澤「日光東照宮祭礼と芸能」

(4) 研究代表者、研究分担者、研究協力者による合同の成果発表として、以下の4つの合同報告を実施した。

- ①2009年6月1～3日オランダ・ライデン市で、ライデン大学地域研究所(LIAS)主催・本科研共催で実施された国際研究集会  
 “Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan (近世日本における宗教と儀礼へのまなざし)”を組織し、本科研メンバー8名(曾根原/福原/佐藤/岸本/山澤/大川/牧野/オリオン・クラウタウ)が報告を行った(蘭英仏圏から約20名参加)
- ②2012年10月28日に日本思想史学会2012年度大会(松山・愛媛大学)におけるパネルセッションとして「近世の習合思想」(報告者:曾根原/H. van der VEERE(ライデン大学)/岸本、コメント:オリオン・クラウタウ、司会:佐藤)を組織し報告した。
- ③同年11月24日に本科研と中華日本哲学会の共同主催による国際シンポジウム「日本近世の思想・宗教と社会—神道・仏教・儒学思想と「徳川の平和」—」(中国・北京日本学研究中心)を組織し、4名の報告(曾根原/佐藤/岸本/大川)を実施した(中国側参加者約30名)。

- ④2013年3月23日に米国アジア学会(AAS)年次大会(米国・サンディエゴ)においてパネルセッション“The Culture of Eastern Radiance: Examining the Impact of the Tōshōgū upon Japan’s Early Modern Period (東照宮研究が切り開く新たな日本近世のイメージ)”を実施した(報告者:曾根原/若尾/岸本/ケイレブ・カーター(慶応大学)、コメント:Herman OOMS(UCLA)、司会:William BODIFORD(同))。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計11件)

- ①曾根原 理、秀吉・家康の神格化と「徳川王権論」、日本思想史学、査読有、44号、2012、14-22
- ②曾根原 理、徳川家康の年忌儀礼と近世社会—二つの百回忌行事からの考察—、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、3-14
- ③岸本 覚、萩藩における歴代徳川将軍家祭祀、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、15-29
- ④福原 敏男、広島東照宮の風流化、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、30-47
- ⑤山澤 学、日光東照宮と民衆心性—大千度行法の考察を中心に—、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、48-61
- ⑥佐藤 真人、山王神道と日吉社の神饌、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、62-72
- ⑦大川 真、消失しない靈魂、季刊日本思想史、査読無、78号、2011、73-87
- ⑧曾根原 理、徳川将軍家の草創神話、季刊東北学、査読無、27号、2011、127-137
- ⑨佐藤 真人、平安朝文学に見る神仏隔離、国文学解釈と鑑賞、査読無、76巻8号、2011、133-140
- ⑩山澤 学、元禄年間『御本坊御家来由緒書』について、日光山輪王寺、査読無、79号、2010、69-90
- ⑪山澤 学、日光東照宮のまつりと御役、古

[学会発表] (計 33 件)

- ①曾根原 理、The ‘God of Compassion’ as the Ruler of Japan、2013 the Association for Asian Studies(AAS) Annual Conference、2013年3月23日、San Diego(U.S.A.)
- ②若尾 政希、The Textual Aspects and Dissemination of The Dying Instructions of the Tōshōgū、2013AAS Annual Conference、2013年3月23日、San Diego(U.S.A.)
- ③岸本 覚、The Role of Tōshōgū Ritual Among the Feudal Clans: The Case of the Hagi Domain、2013AAS Annual Conference、2013年3月23日、San Diego(U.S.A.)
- ④ケイレブ・カーター、Displacing the Shogun’s Shintō: Join and the Mountain of Togakushi、2013AAS Annual Conference、2013年3月23日、San Diego(U.S.A.)
- ⑤曾根原 理、東照宮研究から見えてくる日本近世史、中日国交正常化四十周年記念国際シンポジウム「日本研究の新展開」、2012年12月2日、北京日本学研究中心(中華人民共和国)
- ⑥曾根原 理、鹿児島東照宮と明治維新、中華日本哲学学会等主催シンポジウム「日本近世の思想・宗教と社会」、2012年11月24日、北京日本学研究中心(中華人民共和国)
- ⑦佐藤 真人、日本近世の神仏隔離慣行について、中華日本哲学学会等主催シンポジウム「日本近世の思想・宗教と社会」、2012年11月24日、北京日本学研究中心(中華人民共和国)
- ⑧岸本 覚、萩藩における宗教儀礼と東照宮、中華日本哲学学会等主催シンポジウム「日本近世の思想・宗教と社会」、2012年11月24日、北京日本学研究中心(中華人民共和国)
- ⑨大川 真、仙台東照宮と戊辰戦争、中華日本哲学学会等主催シンポジウム「日本近世の思想・宗教と社会」、2012年11月24日、北京日本学研究中心(中華人民共和国)
- ⑩曾根原 理、天海を仰ぐ思想家たち、日本思想史学会 2012 年度大会パネルセッション「近世の習合思想」、2012年10月28日、愛媛大学(松山)
- ⑪岸本 覚、幕末維新期の鳥取東照宮、日本思想史学会 2012 年度大会パネルセッション「近世の習合思想」、2012年10月28日、愛媛大学(松山)
- ⑫曾根原 理、『両部神道口訣抄』における神道・儒教・仏教、国立政治大学等主催シンポジウム「東アジアにおける宗教と文化」、2012年10月6日、国立政治大学(中華民国)
- ⑬大川 真、もうひとつの近代日本像—共和政治と幕末の東北、第5回日本韓国研究統合プラットフォーム、2012年7月15日、台湾大学(中華民国)
- ⑭曾根原 理、Tendai Shinto in the Muromachi Period: The Changing Aspects of Sanno Gongen、2012 the Association for Asian Studies(AAS) Annual Conference、2012年3月15日、Tronto(Canada)
- ⑮佐藤 真人、貞観年間神仏隔離の制度化の背景をめぐって、日本思想史学会 2011 年度大会、2011年10月30日、学習院大学(東京)
- ⑯曾根原 理、秀吉・家康の神格化と「徳川王権論」、日本思想史学会 2011 年度大会、2011年10月29日、学習院大学(東京)
- ⑰曾根原 理、日本近世仏教が注目した明代仏教、東北亜地区多元文化共生実態研究国際学術検討会、2011年8月3日、シリント(中華人民共和国)
- ⑱曾根原 理、Combinatory systems in the Early Modern period: Sanno ichijitsu Shinto、SOAS(the School of Oriental and African Studies) Spring Workshop ” Combinatory Practices in Japan :Rethinking Religious Syncretism”、2011年2月25日、University of London(England)
- ⑲佐藤 真人、The Formation of Honji Suijaku in Ninth Century Japan、Spring Workshop ” Combinatory Practices in Japan :Rethinking Religious Syncretism”、2011年2月25日、University of London(England)
- ⑳福原 敏男、Combinatory Rual of the Modern Period: The Funeral Procession as a Festive Procession、Spring Workshop ” Combinatory Practices in Japan :Rethinking Religious Syncretism”、2011年2月25日、University of London(England)
- ㉑曾根原 理、山王一実神道における天皇と将軍、中国社会科学院日本研究所「神道と日本文化」国際シンポジウム、2010年11月13日、北京中国社会科学院(中華人民共和国)
- ㉒佐藤 真人、神道における仏教忌避の要因をめぐって、中国社会科学院日本研究所「神道と日本文化」国際シンポジウム、2010年11月13日、北京中国社会科学院(中華人民共和国)
- ㉓大川 真、尊皇攘夷とお岩さん—日本近代のナショナリズムとスピリチュアリズム、東アジア恠異学会第63回定例研究会、2010年3月27日、園田学園女子大学(兵庫)

- ②④佐藤 真人、神仏習合・神仏分離における神職・僧侶の諸相—神仏関係史再考—、日本宗教学会 2009 年度学術大会、2009 年 9 月 13 日、京都大学 (京都)
- ②⑤曾根原 理、東照宮祭祀と芸能、神社史料研究会第十五回サマーセミナー、2009 年 8 月 30 日、日枝神社山王閣 (東京)
- ②⑥曾根原 理、Annual Memorial Rites for Tokugawa Ieyasu; based on the case of the Tottori-Tōshōgu, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 1 日、Leiden University (Nederland)
- ②⑦岸本 寛、Toshogu Rites and Ancestor Rites: A comparison of the Hagi and Tottori Domains, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 1 日、Leiden University (Nederland)
- ②⑧山澤 学、Shugendo and the Religious Festivals of Nikko Toshogu, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 1 日、Leiden University (Nederland)
- ②⑨佐藤 真人、Historical Changes in food offerings in Sanno Shinto, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 2 日、Leiden University (Nederland)
- ③⑩大川 真、Kishin, Shinto and Reigaku in the Middle-Edo Period, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 2 日、Leiden University (Nederland)
- ③⑪福原 敏男、Religious Festivals in Early Modern Japanese Castle Towns, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 3 日、Leiden University (Nederland)
- ③⑫牧野 和夫、Books in Seminary Temples and Early Modern Sōden-Engi Narratives: an Analysis centered on accounts of Raiken, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 3 日、Leiden University (Nederland)
- ③⑬オリオン・クラウタウ、The Discourse on Edo-period Buddhist Decadence: Its Modern Formation and Historical Meaning, Leiden Institute for Area Studies Workshop” Perspectives on Religion and

Ritual in Early Modern Japan”, 2009 年 6 月 3 日、Leiden University (Nederland)

〔図書〕 (計 10 件)

- ①福原 敏男、渡辺出版、幕末江戸下町絵日記—町絵師と暮らしとなりわい—、2013、128
- ②福原 敏男、西条市総合文化会館、西条祭礼絵巻、2012、136
- ③末木 文美士等編・曾根原 理分担執筆、ぺりかん社、日本思想史講座 3 近世、2012、33-66
- ④崔 世廣編・曾根原 理/佐藤 真人分担執筆、中国社会科学出版、神道与日本文化 (中国語)、2012、191-207/256-271
- ⑤菅原信海・田辺三郎助編・曾根原 理/山澤学分担執筆、春秋社、日光—その歴史と宗教、2011、235-250/299-323
- ⑥伊藤 聡編・佐藤 真人分担執筆、竹林舎、中世神話と神祇・神道世界〈中世文学と隣接諸学三〉、2011、33-53
- ⑦末木 文美士等編・曾根原 理分担執筆、佼成出版社、民衆仏教の定着〈新アジア仏教史 13〉、2010、81-122
- ⑧植木行宣・田井竜一編・福原 敏男分担執筆、岩田書院、祇園囃子の源流、2010、9-15
- ⑨山澤 学ほか編、筑波大学附属図書館、日光 描かれたご威光—東照宮のまつりと將軍の社参—、2009、31
- ⑩山澤 学、思文閣出版、日光東照宮の成立—近世日光山の「荘厳」と祭祀・組織、2009、380

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

曾根原 理 (SONEHARA SATOSHI)  
東北大学・学術資源研究公開センター・助教  
研究者番号: 30222079

(2)研究分担者

福原 敏男 (FUKUHARA TOSHIO)

武蔵大学・人文学部・教授

研究者番号：20156805

佐藤 真人 (SATO MASATO)

北九州市立大学・文学部・教授

研究者番号：40222020

岸本 寛 (KISHIMOTO SATORU)

鳥取大学・地域学部・准教授

研究者番号：80324995

山澤 学 (YAMASAWA MANABU)

筑波大学・大学院人文社会科学研究科

・准教授

研究者番号：60361292

(3)連携研究者

牧野 和夫 (MAKINO KAZUO)

実践女子大学・文学部・教授

研究者番号：70123081

若尾 政希 (WAKAO MASAKI)

一橋大学・大学院社会科学研究所・教授

研究者番号：80210855

大島 薫 (OSHIMA KAORU)

関西大学・文学部・教授

研究者番号：50319604

(4)研究協力者

大川 真 (OKAWA MAKOTO)

吉野作造記念館・副館長

研究者番号：(なし)

オリオン・クラウタウ (Orion Klautau)

龍谷大学・アジア仏教文化研究センター博士

士研究員

研究者番号：(なし)

ケイレブ・カーター (Caleb Carter)

カリフォルニア大学ロサンゼルス校・博士

課程

研究者番号：(なし)